

## 顔認知に関わる上側頭回と扁桃体の線維連絡が自閉性尺度と関係していた！

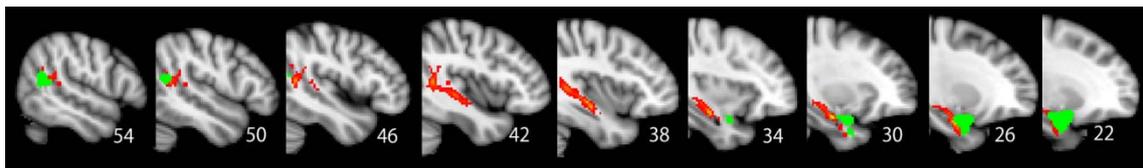
名古屋大学の飯高らは機能的 MRI (fMRI) と拡散テンソル画像 (DTI) を同じ被験者で撮像して、顔認知に関係する脳領域間を結ぶ線維連絡を描出することに成功しました。各健常被験者から得られた上側頭回と扁桃体を結ぶ線維連絡の大きさは、被験者の自閉性尺度得点と有意な相関を示しました。この結果は脳の機能と形態の相互作用により、ヒトの性格傾向が形成されている可能性を示すものです。

White matter connectivity between superior temporal sulcus and amygdala is associated with autistic trait in healthy humans.

Tetsuya Iidaka, Makoto Miyakoshi, Tokiko Harada, Toshiharu Nakai  
Neuroscience Letters (in press)

論文はまだ印刷中ですが、下記からご覧になれます。

<http://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0304394012000717>



顔認知に関わる上側頭回後部（左端に緑で示されている領域）と扁桃体（右端に緑で示されている領域）を結ぶ線維連絡を DTI により描出することが可能であった。

2012 年 1 月 31 日

名古屋大学 大学院医学系研究科 飯高哲也